

備前市事務事業評価表

事務事業名	水洗化普及事務		コード	01-01-10-04
			担当課・係	下水道課業務係
			担当者	瀬尾 茂樹
事業実施期間	昭和62年～		電話	0869-66-9701
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	下水道		

事業について	
目的 (何のために)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道処理区域内の家屋、事業所等の下水道への接続の促進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	下水道処理区域内の排水設備設置義務者
内容	水洗化工事費に対する融資あっせん利子補給制度の実施及び地元説明会の開催や広報誌等による水洗化促進の啓発を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
地元説明会参加者	135 人	80 人	
広報誌配布	6,500 戸	6,700 戸	
融資あっせん利子補給件数	10 件	10 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	526	間接補助金等	200	直接事業費	202	間接補助金等	
	人件費	3,135	受益者負担		人件費	380	受益者負担	
	合計	3,661	市債	3,461	合計	582	市債	582
			一般財源等				一般財源等	0

必要人員	0.35 人	0.05 人	
結果指標名	地元説明会参加者		
結果指標量	135	80	
単位	人	人	
対前年比	-	59.26%	0.00%
活動にかかるコスト	977,000 円	10,000 円	
単位当たりコスト①	4,370 円	125 円	
結果指標名	融資あっせん利子補給件数	融資あっせん利子補給件数	
結果指標量	10	10	
単位	件	件	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	137,000 円	192,000 円	
単位当たりコスト②	13,700 円	19,200 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	下水道への接続者を増やして生活環境の改善と公共用水域に水質保全を図る。		
成果指標名	水洗化率	式又は説明	下水道接続人口/処理区域内人口×100
	17年度	18年度	
成果指標量	87	87	
対前年比	-	100.35%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成30年度

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		B	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識		
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	生活環境の改善、公共用水域の水質保全という下水道整備の効果をあげるため、水洗化率の向上を図ることは必要である。		
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である			
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である				
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>		
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識		
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	融資あっせん制度は、実際の融資は民間金融機関が行なうため、コストは抑えられていて効率的であるが、利用者数は減少傾向にあり制度内容の充実を図る必要がある。		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>			
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識			
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	水洗化率は徐々にではあるが向上しているが、今後も啓発活動継続していく必要がある。		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の評価		平成19年度以降の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	より効果的な啓発活動の方法を検討中である。		
目標値	結果指標量①	0人 (工事の関係により地元説明会開催予定なし)	結果指標量②	15件
	成果指標量	87		

総合評価	評価区分<A~E>
下水道整備の目的である生活環境の改善、公共用水域の水質保全を達成するには、水洗化率の向上が重要であり、より効果的な啓発や制度の充実を図る必要がある。	C

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	融資あっせん利率の見直し	H20~	融資あっせん利用者増による水洗化率の向上